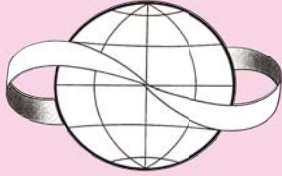


# ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



第77号

商標登録第 4882482 号

発行 東多摩再資源化事業協同組合  
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生  
東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 18  
TEL : 042 - 395 - 9788  
FAX : 042 - 395 - 9787

## 緊急事態宣言下の 資源業界の動きについて

まずは、新型コロナウイルスの感染により、亡くなられた方々に哀悼の意を表すると共に、療養中の皆様にお見舞い申し上げます。また、感染リスクを負いながら最前線で戦っておられる医療従事者の皆様、その他必要な社会的インフラを支えて頂いている全ての皆様に感謝とエールを申し上げます。私も携わっている資源回収や再資源化の仕事も、生活に欠かせない業務ということでも、感染リスクを負いながらも対策を十分行っ作業をしています。品不足で入手困難なマスクや消毒液を必死に手配し、ゴム引き手袋の着用、室内や車内の換気徹底等実施しています。そして、回収作業員は、時差出勤、時差出発の導入もしていますので、回収時間が前後する可能性があります。資源物は、必ず決められた時間まで出して下さい。

### ●マスク等の分別徹底のお願い

そして、感染リスクとしては、感染者の方が口にされた飲料缶やペットボトルが考えられます。更には、正しく選別されず、古布の中に布マスク、古紙の中に不織布の使用済みマスクやティッシュなどが混入しているケースがありま

す。回収した資源物は全て選別作業を行っているので、不適切な排出がされた場合、二度にわたってリスクに晒されます。使用済みマスクやティッシュは、収集作業員が直接触れないようにビニールに入れて、可燃ごみにして下さい。

### ●古着の排出抑制のお願い

また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、各国で都市封鎖が起き、古布の主な輸出先であるマレーシアやフィリピンでも工場は閉鎖、港にコンテナが滞留するような事態となり、古布の輸出が止まっている状況です。四月以降、古布業者から古布の引き取りを断られるケースも出てきています。一方で、外出自粛要請を受けて自宅におられる市民の皆様で、衣替えを早めたり、断捨離をしていらない衣類を出された方も多かったのでないでしょうか？四月の古布の回収量は昨年比で一五〇・八倍程度に伸びていて古布問屋の倉庫がパンクするのも時間の問題となっています。マレーシアで経済封鎖が解除されて少しずつ動き始めるとの予測ですが、マレーシアで選別された中古衣料の輸出先の国で経済封鎖が解除されなければ意味がなく、いつ本格的に流れが戻るかは全く不明です。

古布は、しばらくの間家庭備蓄をし、まとめて出さないと少しずつ出すようお願い申し上げます。また、同様に自動車や建設資材など、海外の産業向けの輸出の停滞でスクラップ関連も暴落していることも付け加えておきます。

### ●古紙回収の非常事態も継続中

古紙の市況は、前号でもお話しした通り、中国の輸入規制や米中の貿易摩擦の影響で、昨年秋季ごろから悪化しています。また、今年いっぱい中国への輸出は停止になる予定で、先行きが不透明になっています。東京都資源回収事業協同組合では、一月二〇日に『集団回収事業非常事態宣言』を発表（本誌三頁に原文を掲載）し、古紙の市況が回収コストを大幅に割っており、回収業者への支援が必要であると訴えています。古紙の余剰感を背景に、製紙会社からの古紙の品質基準も厳しくなってきたり、特に雑がみ類については、選別の悪いものを一部受け入れ拒否する問題も出てきています。折からの市況の悪化にコロナ禍が相まって、資源物全般に引き続き厳しい状況ですが、まずはごみ化を防ぐ緊急対策が必要で、市民の皆様には分別の徹底をお願い致します。（TKO）



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

## 東京都資源回収事業協同組合が 創立70周年を迎えました。



第19代 松本貞行理事長

当組合の上部団体である、東京都資源回収事業協同組合（東資協）が、令和元年に法人設立以来七〇周年を迎え、去る令和二年二月一日（土）、東京ガーデンパレスにて創立七〇周年記念式典を挙行了した。当組合からも多くの組合員、青年部が参加した。

第一部では、五輪イヤーにちなんで、柔道家の古賀稔彦氏の記念講演会が開催された。

第二部記念式典は、実行委員長である武田副理事長の開会宣言で開会した。続いて、松本理事長は、『七〇年という歴史の中で、様々な問題に直面しながら、先人たちのたゆまぬ努力そしてまた関係各位のご理解・ご協力の元、乗り越え、歴史が築かれてきたことに感

謝の気持ちと託された大きな意義を痛感した。そして今、古紙の余剰と集団回収が危機的な状況に陥っているときに、組合員の皆様と共に乗り越えていかないといい、その決意を今日の式典の意味として捉えたい』と挨拶した。

続く表彰式では、東京都知事、東京都中小企業団体中央会などから東資協に感謝状が贈られた。当組合の紺野顧問、吉浦理事長も東資協の歴代理事長として感謝状を頂いた。紺野顧問は謝辞として、『私が二〇数年前に理事長をさせて頂いた頃は、今のこの業界の厳しい状況にそっくりの時でした。まるでタイムスリップしてしまったのかと思うほどの頃も大変な苦勞をして再生資源すべてが滞貨し価格が暴落し、そして非常事態を宣言して走り回ったことを今思



左から松本理事長、紺野当組合顧問（第14代理事長）、吉川東資協相談役（第16代理事長）、吉浦当組合理事長（第17代理事長）

い起こします。あの苦勞を共に味わって助けてくださいました先輩方そして同僚また市民団体のたくさんの方、皆さん、地方自治体の行政の皆さん、あの時の本当の苦勞を肌身にしみて覚えておられる先人たちの声をこれからも参考にしたい。ただいてこの難局をぜひ乗り越えて新たな循環社会の構築をするのだ・・・という気持ちで頑張っていただけだと思います』と感謝の気持ちと共にエールを送った。

また、多くの来賓の方々が駆け付け、中川雅治参議院議員、東資協顧問の都議会議員の先生方、関連業界団体、市民団体の代表者の方々からそれぞれご祝辞があり、七〇年という長い歴史の中で資源回収という静脈産業を支えてきたことへの感謝の言葉を頂いた。

第三部記念祝賀会では、改めて松本理事長から挨拶があり、『紺野相談役からも話があった通り、二〇〇〇年当時はまさに行政回収が始まるという時期で、古紙が暴落して余剰していた時期でもあります。その時は赤字覚悟の出血輸出で何とかしのいでいた時期でした。その後中国が世界の工場として世界中から資源物を買入られるようになり、この二〇年間は古紙がうまく回っていました。皆



ご来賓、組合員合わせて150名もの皆様で70周年をお祝いしました。

様ご存じの通り二〇一七年に中国が環境規制の名のもとに固体廃棄物の輸入を制限し始め、古紙についても徐々に輸入枠を絞り、本年二〇二〇年には古紙の輸入をゼロにするという話をしている。このために日本でも昨年秋ごろより古紙が余剰、価格も暴落しています。我々東資協としても回収コスト割れの影響を大きく受ける集団回収事業の非常事態宣言（次頁に原文を掲載）を一月二〇日付で発表しました。一般紙にも内容を取り上げて頂き、広く知れ渡りましたが、回収業界、問屋業界、製紙メーカー、そして市民の皆様、行政が連携し、それぞれのコスト負担を考え危機を乗り越えていかなくてはなりません。』と訴えた。また、松本理事長の挨拶の中で、故片岡前理事長以来の悲願であった

関係者各位

令和2年1月20日  
東京都資源回収事業協同組合  
理事長 松本 貞行

### 集団回収事業非常事態宣言

皆様には日頃から再生資源のリサイクル事業にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

東京都資源回収事業協同組合(以下、当組合)は、40年以上の長きにわたり都民の皆様と連携し、集団回収事業を協働させて頂いております。都民・行政・回収業者が三位一体で取り組む集団回収事業は、資源循環型社会形成の礎となっており、地域コミュニティの活性化にも繋がるすばらしいシステムです。しかし現在、回収された古紙は様々な理由から行き場を失い、国内外に溢れかえる状態となっております。都内の古紙流通価格は過去に類を見ないほど下落し、回復の見通しも立っておりません。そのため集団回収事業から撤退・廃業する業者が増加しており、資源回収業界の存続、延いては循環型社会形成の継続すら危ぶまれる状況にあります。

このような状況に対し、当組合は**集団回収事業継続の非常事態宣言を発令**し、集団回収事業に携わるすべての皆様にご理解とご協力をお願い申し上げます。

現状の都内における古紙流通価格は回収業者の回収費用すら賄えない危険な状態下にあります。しかしながら、業務継続のため過度な費用負担を団体様にお願いすることは、集団回収事業の根底を破壊する事になり、集団回収事業そのものの崩壊に繋がります。都民の皆様の協力により成り立つ集団回収のシステムは一度崩れてしまうと再構築は大変困難であり、集団回収事業の崩壊は、すなわち、対象資源のごみ化をまねき、行政の負担は膨大なものとなります。

当組合といたしましても集団回収事業を維持する為、最大限の努力を致しますが関係者各位にも、この窮状をご理解いただき、安定した資源化に必要な自治体等の助成を含め、非常事態を乗り切るためのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ先 東京都資源回収事業協同組合 事務局 03-3263-3676

東京オリンピック・パラリンピック大会の一部会場での古紙、びん、かんと言った資源物の回収業務委託が決定したという明るいニュースについても報告があった。ご承知の通り、去る三月二十四日に大会自体は開催延期が決定してしまっ

たが、資源回収業務については引き続き協議して頂けるということ、その意味でも来年の東京オリンピック・パラリンピックの無事の開催を期待したい。松本理事長始め役員と来賓各位の皆様による鏡開きにより開宴と

なった。今考えると、コロナによる自粛直前が一番大きなイベントであり、皆でこうして集まれる日が本当に待ち遠しい。集団回収の非常事態も、コロナの緊急事態も早く宣言が解除になるよう、もう少し頑張りました。(TKO)



集団回収団体の皆様への表彰式も開催されました

会場をホテルメトロポリタンエドモンドに移して開催された陽春のつどいでは、栗原理事長から古紙の余剰に関して日本の古紙の品質の良さをアピールし、中国に政策を転換させようと力強く挨拶がありました。そのためにも品質の維持は絶対です。引き続き、分別の徹底をお願いします。(小畑)

#### ◆東リ協会陽春のつどい◆

去る一月二十八日、公社)東京都リサイクル事業協会の『リサイクルフォーラム・陽春つどい』に参加しました。

東京しごとセンターで開催されたリサイクルフォーラムでは、東京オリンピック・パラリンピックにおける資源物の分別ナビゲーターや回収及び交通規制について講演がありました。残念ながら延期となりましたが、国家的なイベントに様々な形で関われることに期待が膨らむ講演会でした。

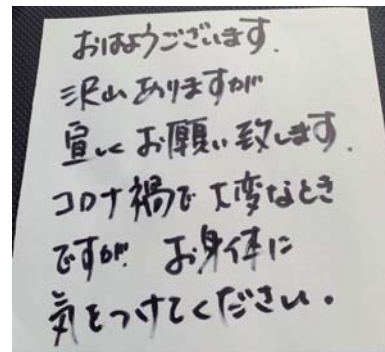
## リサイクル掲示版

## 【緊急】コロナ禍の今、回収業者からのお願い！

最近、ニュース等でも取り上げて頂いているおかげで、市民の皆様から『お疲れ様です』とか、『頑張ってください』と声を掛けて頂いたり、右の写真のようなメッセージを頂くことがあります。コロナ怖いな、荷物多くて回収大変だなと思いつつも仕事に励んでいる回収作業員にとって、こうした皆様からのエールはパワーの源になります。

## 本当にありがとうございます！

1面に詳細は書いてありますが、まさに今、回収業者としてこれだけはお願いしたいことを整理しておきますので、ご協力を頂きまして、何とかこのコロナ禍を乗り越えていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します！



## ①古紙・古布は一度に大量に出さないで下さい m( )m

連休中は、皆様外出自粛で出かけられないため、家の片づけをされた方も多かったようです。一度に大量の古紙・古布が出ると、回収車両はいつもの台数では足りず、何台も増車しなくてはなりません。

また、古布はほとんどが海外に輸出されて選別、リユースをされているのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために3月末位から輸出先の国々がロックダウンし、流通がストップしています。このため、価格も暴落し、一部引き取りを拒否する問屋も出てきています。(右の写真は、古紙問屋であらわれている古布)



組合では、各市に家庭備蓄の広報、緊急時の返却などの要請をしております。市民の皆様におかれましては、なるべく一度に大量に出さず、平均的に出すようにお願いします。(古紙は2～3束、古布は1～2袋程度までだと助かります。また、重過ぎるとトラックに乗せるのが大変なので、1袋に詰め込みすぎないようにして下さい。)

## ②マスクはビニールに入れるなどして、燃やせるごみに⚠️ (不織布マスクや使用済みティッシュを雑がみに混ぜないで下さい。布マスクは古布に混ぜないで下さい。)

不織布マスクや使用済みのティッシュが雑がみなどの古紙に混入しているケースが見られます。また、布マスクが古布に交じっているケースもあるようです。回収作業員への感染症防止はもちろんですが、そもそも不織布は紙ではありません。汚れているものもリサイクル出来ません。使用済みのマスクは、ごみの収集作業員が誤って触れることの無いようにビニール等に入れた上で、燃やせるごみに出して頂きますようお願いいたします。

**コロナに負けずに頑張りますので、宜しくお願いします！**

リモート会議を導入しました

当組合では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、緊急事態宣言後の諸会議を延期したり書面決議としていました。ところが、折からの資源物相場の低迷や、新型コロナウイルス対策など、重要案件の協議を進めていく必要から、リモート会議を導入しました。

まずは、朝の事務局ミーティングから導入し、理事長と私はそれぞれの会社から参加する形で試験的に始めました。そして、正式な会議としては、五月の理事会をリモート開催とし、理事監事七名のうち、四名がパソコンやタブレット、スマートフォンなどによりリモートで参加、三名はスマートフォンの画像を組合事務局のTVに



リモート理事会の様子。発言等もはっきり聞こえます。

映し出す形で参加しました。今回事務局参加して頂いた方も、その場でアプリを入れて頂き、次回からはリモートで参加して頂くようお願いしました。

こうして理事会での運用がうまくいったので、さらに参加者の増える業務委員会、総会もリモート開催に向けて準備を進めています。実際に会って話が出来ないのは少々物足りない気もしますが、実際にやってみると思っていたよりしつかりと話し合いが出来ました。何より、こここのところ組合員の皆様とこうして会話する機会なんてあまりなかったたので、有意義な話が出来ましたし、初めてのことで、少し楽しいです。

これで済むなら出張の必要がなくなるのではとか、その場にいながら参加できないという言い訳は利かないという心配はありますが、会って話す会議とリモートを併用しながら進めていければいいと考えています。

ただ、会議資料もメール配信にしましたので、これを日本全国で進めていくと、ますますペーパーレスが加速することを感じました。令和時代に入って、急速な時代の変化を肌身に感じた今日この頃です。

(TKO)

青年部では一歩先にWEB総会

青年部では、一歩先にリモートでの総会を導入していました。

東資協青年部が、四月二四日にWEB総会として開催し、一三名が参加、仲條青年部長の続投が決まりました。当組合青年部からは、福田顧問がここで卒業となり相談役に就任した他、紺野監査が顧問に、水野部長が広報担当幹事、吉



青年部のWEB総会。普通の総会以上に盛り上がりしました。

浦副部長が会計に就任しました。当組合青年部もリモート総会を開催し、引き続き水野青年部長の元少数精鋭で頑張ります。

故 古山 忠さんを偲んで



当組合の元組合員で、古山商會代表の古山忠さんが去る四月二三日永眠されました。故人の希望により、葬儀は近親者のみで執り行われ、家族の皆様に見送られて旅立たれました。

古山さんは、平成五年の組合創設時から理事に就任し、平成六年に小平市リサイクルセンターの委託事業が始まると、センター担当理事として後事、平成一〇年四月から小平市中島町資源化処理施設において組合が食品トレイ、蛍光管、電池、牛乳パックの選別委託作業を受けてからは、当委託作業における総責任者を平成二五年八月まで務められました。平成三一年三月に組合を退会されるまで理事として組合事業に貢献されました。

新潟県ご出身でお酒が大好きで、孫ほど年下の私のような若輩者にも優しく声を掛けて下さって昔話をして頂きました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

専務理事 紺野 琢生

## 運転適性診断を出張で開催

一月二十九日午前・午後の部二回に分けて、東村山市民センター第四会議室にて運転適性診断を開催。組合員九社三十八名が参加しました。平成一三年九月一日から貨物自動車運送事業用運転者「初任者・高齢者」に対して適性診断の受診が義務付けられています。通常、都内の会場に各自行つて受診しなくてはなりません。組合は該当者も多いので、出張で行うようになり通算三回目となります。診断は視覚機能検査、認知・処理機能検査、性格・安全運転態度・危険感受性テストを行います。その結果にもとづいて個人面談および集団カウンセリング致します。事故の未然防止のための運転行動と安全運転のための留意点について助言・指導致してもらいます。



出張による適性診断サービスは終了したそうだが、今回特別に実施して頂いた。

参加した回収作業員から、「運転に自信があったが、選択反応が遅めだった。」「落ち着いて運転しているつもりだったが、気分が変わりやすい結果が出た。」等の声が聞かれました。診断結果をもとに、自分自身の傾向を理解し、さらなる安全運転に努めていってほしいと思います。

この場を借りて、この度、無理を言つて出張診断していただいた、ヤマト・スタッフサプライの皆様へ改めて心より御礼申し上げます。(水野K)

## 関資連青年部大会茨城大会

去る二月十五日、茨城県つくば市のホテル東雲にて、第四回となる標記の大会が開催されました。

開催地である茨城県再生資源事業協同組合青年部の金子部長の歓迎の挨拶で開会、竹井関資連青年部長は、日資連青年部三十周年記念誌から関資連青年部の歴史を振り返つて紹介し、歴代青年部長始め、諸先輩方が築き上げてきたことに敬意と感謝を述べ、厳しい市況の中、団結して取り組んでいく決意を表明した。来賓として関資連福田会長、茨資協斎藤理事長が挨拶された後、次期開催地が埼玉県と発表され、埼玉県再生資源事業協

同組合星野青年部長が挨拶をして式典は閉会した。

続く記念講演会では、アマゾンウェブサービスジャパン株式会社 IOTソリューション・スペシャリスト門田進一郎氏より、アマゾンの取り組みやIOTについて分かりやすくご講演を頂いた。アマゾンが様々なプラットフォームを用意していること、そこに私たちが仕事上で困っていること、効率化したいことを結び付けていくことで、IOTを実現することが出来るし、出来上がったサービスを受けるのではなく、業界内に新たなサービスを作り出すことも出来るなど、分かりやすく、期待も膨らむ講演会だった。

第三部懇親会では、茨城県出身の芸人さんやマジシャンが登場し、宴席を盛り上げた。

二〇一六年に始まったこの大会は、開催地の青年部が講演会からアト



ラクションまで趣向を凝らして開催して頂いており、いろんな意味で毎年楽しみにしている。それよりいつまで青年部？あと数年は居させて： (TKO)

## 東資協青年部・青経塾

去る二月二〇日、東資協本部会議室にて開催された表記の研修会に参加した。日資連のサポート員であるあいおいニッセイ同和損保(株)より講師をお招きし、労働トラブルの防止や就業規則での対応のポイントなど、非常にわかりやすく講演して頂いた。

過払い金請求が一段落し、最近では弁護士が労使間トラブルを取り上げるケースが増えており、残業代の未払いなど高額な請求をされるケースも多いという。これをきっかけに、就業規則も見直しを図り、働き方改革に努めていきたいと思う。(福田)



挨拶をする東資協仲條青年部長。他県青年部からも参加者が訪れた。

### 新組合員紹介

福田三商(株)東村山営業所  
取締役会長 齋藤 武



福田三商は、一九三六年の創業以来古紙リサイクルを通じた社会貢献をめざし、古紙資源の安定回収、安定供給のシステム構築に力とめてまいりました。時代のニーズに定めるべく様々なノウハウを積み上げ、特に「人が全て」をモットーに、省力化設備や快適で高効率な作業環境などを独自に開発効率化を推し進めると同時に、流通や商品品質の安定化も追求してきた結果、古紙リサイクル事業は今日では経済産業を支えるビジネスとして重要な役割を果たすにいたっています。近年では情報の保護管理に対応するシステム作りや需要が拡大している中国、アジアなど世界市場を視野に入れたネットワーク構築など、新たなニーズへもいち早く取り組んでいます。環境保全への意識が世界的に高まるにつれて森林資源の保護、CO2排出量の削減という観点からも社

会的意義は一段と大きなものになってまいりました。七〇年を超える歴史のなかで全国の企業・自治体様との絆を深め、厚い信頼をお寄せいただいている福田三商の古紙リサイクルビジネス。今後も日本のみならず海外市場も視野に入れながら、より進んだ循環型社会の実現に向けて皆さまの期待にお応えし、これからも新たな課題に挑戦してまいります。

### 事務局員交代のお知らせ

平成十年七月の入社以来、長年にわたって事務局員を務めてきた柿崎正則氏が、一身上の都合により、令和二年三月三十一日付で退職致しました。

柿崎さんは、長年の組合事務の知識を生かし、事務局次長として組合事務局業務を遂行し、現在の山本事務局長に引き継いで頂きました。組合青年部発足時より部長としても活動し、卒業まで青年部の会計事務を担当して頂きました。新型コロナウイルスが日本国内にも流行しつづつあった時期であり、皆様にご挨拶も出来ませんでした。が、柿崎さんからは『二一年半にわたり、長い間お世話になった皆様方に心より御礼申し上げます』と言付かっておりますので、



退職した柿崎さん

宜しく願います。柿崎さんの今後の益々のご活躍を祈念します。そして、後任の事務局員として、令和二年三月十日より高山あかねが入社しました。どうぞよろしく願います。

### ○新事務局員 挨拶

柿崎さんの後任として三月より入社致しました、高山あかねです。入社から二か月以上が経ち、少しずつ慣れてきたところです。

短大卒業後は保育の仕事をしておりましたが、転職後は長い間事務職に就いていましたので、その経験を活かし、少しでも早く組合事務局の業務をスムーズに進められるように頑張りたいと思います。時節柄、直接ご挨拶できる機会があまりないのですが、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

### 西東京市集団回収

#### 団体意見交換会

去る二月二五日にエコプラザにて毎年恒例の意見交換会が開催されました。コロナウイルスが問題

### ●各市イベント中止のお知らせ●

毎年、春から夏にかけて開催されている各市リサイクルイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、軒並み中止となりました。秋のイベントの開催は未定ですが、新型コロナウイルスによるパンデミックが早期に収束し、再びイベントで皆様にお会いできます事を組合員一同、心待ちにしております。



PPTだけでなく、禁忌品のサンプルやチラシなども用いて、分かりやすく説明しました。

になり始めた頃でしたが、戸別収集化後初めての開催ということで、マスクをしながら多くの市民の皆様にご参加頂きました。福田業務委員長がPPTを用いて集団回収の現状や古紙・古着の出し方や分別について説明しました。東資協の集団回収の緊急事態宣言を受けて、回収の現状について市民や行政と貴重な意見交換をすることが出来ました。(TKO)

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のための事務局対応について

東多摩再資源協事務局では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための三密回避のため、四月七日の非常事態宣言以降、左記の対応を取らせて頂いております。関係各位には、ご不便をお掛け致しますが、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

①在宅勤務、テレワークの導入  
事務局員三名中一名を交代で在宅勤務としています。携帯電話、メール等で連絡や書類のやり取りをすることは可能です。

②換気・消毒の徹底  
事務局は一時間おきに換気や除菌を行っております。カウンターにアルコール消毒液を設置しておりますので、ご来組された方はご自由にお使い下さい。

③飛沫防止用カーテンの設置  
事務局の受付カウンターに飛沫防止用の透明のカーテンを設置しております。



また、事務局員は、カーテン越しにマスクを着けたまま対応させて頂きますので、ご了承ください。

## 行事・行動

【令和二年一月】

- 六日：仕事始め・挨拶回り
  - 九日：東京都中央会新年会  
：古紙センター新年会
  - 十日：東資協・理事会
  - 十三日：財務委員会・定例理事会
  - 十四日：小平RC責任者会議
  - 十五日：共同受注検査(東村山)  
：小平RC・JV会議  
：古紙持ち去り問題意見交換会
  - 十七日：小平市リサイクルきやらばん
  - 二十日：共同受注検査(東村山)  
：集団回収非常事態宣言
  - 二二日：共同受注検査(東村山)  
：業務・集団回収委員会
  - 二四日：組合新年会
  - 二七日：共同受注検査(東村山)  
：西東京市廃棄物減量審
  - 二八日：東リ協会リサイクル  
フォーラム・陽春のつどい
  - 二九日：運転適性診断
  - 三一日：横須賀市資源回収協組新年会
- 【二月】
- 一日：東資協創立七十周年記念式典
  - 十日：小平RC責任者会議  
：東資協・理事会
  - 十一日：財務委員会・定例理事会
  - 十三日：容環協・紙パックリサイクル促進意見交換会
  - 十四日：小平市リサイクルきやらばん
  - 十五日：関資連青年部茨城大会

十八日：業務・集団回収・広報委員会

十九日：東村山市廃棄物減量審

二十日：東資協青年部研修会

二一日：日資連研修会

二五日：西東京市集団回収  
団体意見交換会

【三月】

十日：小平RC責任者会議

十二日：定例理事会

十六日：小平市廃棄物減量審

十八日：小平RC・JV会議  
業務・集団回収委員会

二五日：東村山市業者連絡会議

三一日：共同受注検査(西東京)

【四月】

一日：東資協総務委員会

八日：東資協理事会(書面決議)

十三日：定例理事会(書面決議)

二四日：東資協青年部総会(WEB総会)

二八日：読売新聞社取材対応

【五月】

八日：財務委員会

十一日：定例理事会(WEB会議)

十四日：東リ協会理事会(WEB会議)

十五日：業務・集団回収委員会(WEB会議)

二二日：第二七回総会(WEB総会)

二三日：東資協第七一回総会

(※三月以降、新型コロナウイルスの影響で対外的行事が概ね中止や延期、規模縮小もしくはリモート開催になっていきます。)

## 編集後記

戦後に生まれ、長年平和を享受してきた私たちが、まさか生きてくる間に、パンデミックによる非常事態を経験することになるうとは思ってもありませんでした。

いつも安全講習会で皆様にお話ししているのですが、組合全体で一〇〇名程いるドライバーの一人ひとりの行動、運転に、他の一〇〇名の仲間と家族の生活が懸かっています。弊社から感染者を出し閉鎖を余儀なくされた場合、それをフォローしてくれる仲間たちの負担が増えてしまうこと、蔓延してしまった場合に資源回収というライフラインがストップしてしまうことになります。

そのようなわけで、私も、二月半ばには電車に乗るのを控え、会議後の懇親会や個人的な飲み会等もご遠慮させて頂くようになりましたので、三カ月近く自粛生活が続いています。

結婚以来こんなに家にいることはなかったのですが、妻の作ってくれるおつまみで晩酌したり、久々に庭いじりをしてお庭BQしたり、家族で懸賞付きクロスワードにハマったり、リモート飲み会をしたり。この苦境を逆に楽しんで乗り切りましょう。

(TKO)